

〔課題名〕 北海道農業の持続的発展及び人材育成方策等検討業務

〔報告書No.〕

〔研究年度〕 平成13年度

〔研究者〕 畠山 尚史, 並木 健二

1. 目 的

本研究は、北海道における農業・農村の持続的発展を可能とするシステムや経営形態として、大規模農場制酪農（以下、「メガファーム」という）を位置付けし、それが有する多面的機能及びその発展可能性、さらにそれを核とした農村地域活性化の方向などについて検討することを目的とする。

具体的には、次のように課題を設定した。

- 1) 北海道農業の持続的発展と人材育成の課題の解明
- 2) 北海道における酪農経営の現状と課題の解明
- 3) メガファームの経営管理並びに生産技術の先進性, 人材確保並びに育成機能の優位性, 農村地域活性化の可能性などの解明
- 4) 北海道におけるメガファームの持続的発展可能性及び人材育成方策などの検討

2. 方 法

第1に、北海道における農業の実態を分析し、その持続的発展と人材育成に向けての課題を明らかにする。とくに、北海道農業の持続的発展方策を模索するベースとして、先進事例を分析し、そこから起こりつつある現象を動的にとらえ、それが目指すべき方向について言及する。また、北海道の行における人材育成の進め方について、4つの観点から提言を試みる。

第2に、北海道酪農の現状分析を通じて、その持続的発展のために取り組まなければならない課題を明らかにする。そこで、北海道酪農が当面する国内外の情勢変化を整理し、それら情勢変化の下で発現しつつある諸問題に言及する。

第3に、それら諸問題解決の一方策としてメガファームの持続的発展を位置付けし、近年成長著しい大規模農場制酪農の中から年間生乳生産量3,000 t以上、あるいはここ数年でその規模に達する勢いのあるメガファームを対象としてとくに経営管理機能、生産技術の革新性、地域社会との関係などに着目し、その社会・経済的存在意義とそれが有する多面的機能を明らかにする。さらに、これら分析をもとに持続的発展の可能性を検討する。

第4に、以上の検討結果を総括し、北海道地域農業の発展方策と人材育成の進め方についていくつかの提言を行う。あわせて、メガファームの存立条件として、政策的支援策、関係機関や地域社会の役割について言及し、北海道におけるメガファームの持続的発展方策を検討する。

3. 成 果

北海道の農業・農村にとって、「酪農経営をいかに発展させるか」という問題は、最も重要な課題の一つであり、これまでも多くの議論がなされ、様々な取り組みがなされてきた。そもそも酪農の技術的特徴は、土地利用を基礎として自然の生態系と深く関わり、家畜生理の合理性がこれに加わる。そして、これらの循環の基礎には、たえず労働力の再生産、ひいては農家の生活過程が位置する。その意味で酪農は、人づくり、土づくり、草づくり、牛づくりが個別経営の内部において、さらにその地域的、社会的連関をもちながら循環系をなす。とくに北海道酪農のように草地酪農の場合には、この循環と全面的にかかわりながら生産力が形成されている。

しかし、酪農経営の近代化政策、つまり大型化と専門化を基調とする酪農経営の改革過程において、過剰投資、労働過重、後継者不足、飼料自給率低下、環境汚染などの問題が現出し、この循環系がほころび始めている。本研究で分析の対象としたメガファームは、その経営管理機能の高さ、生産技術の革新性、地域社会との密接な関係など、どれをとっても、この循環系のほころびを繕う役割を担うべき存在として期待されるものである。

そこで以下では、メガファーム育成のための条件について整理する。

メガファームの育成条件としては、飼料や資材をいろいろな業者から選択的に購入できる環境、農地の流動化と集積の機会などの確保が挙げられる。北海道のメガファームは、系統農協の組合員であることから、生産資材などの取引において選択の幅はほとんどなく、スケールメリットも追求しにくい環境におかれているからである。

また、持続的な発展を酪農に要求する限り、メガファームは農地を獲得していかなねばならない。土地利用型の酪農を営む北海道のメガファームは、経産牛2頭につき農地1haくらいはほしいところである。一方、堆肥などを農地に還元する条件を持たぬ経営では、近隣の畑作経営に提供するか、販売しなければならない。つまり、広域的な対応で持続性を備えられない限り、土地集約がメガファーム育成には欠かせない条件となる。

さらに、農業・農村を活性化させるには、優秀な人材の確保が不可欠であり、農村での人づくりは、従来は集落の先輩農家が指導し、育成する慣わしであった。メガファーム起業者や継承者の要請は、メガファーム自体が負わなければならない役割であり、多方面から優秀な人材を迎え入れる方法を確立することが期待されている。

4. キー・ワード

北海道農業、持続的発展、人材育成